

【肩鎖関節上方脱臼 診察・整復】

問 1. 肩鎖関節上方脱臼の整復法で誤っているのはどれか。(第 29 回)

1. 助手は患者の後方に立つ。
2. 助手は患者の両上腕部を把持する。
3. 術者は患肢を前下方に牽引する。
4. 術者は患側の鎖骨遠位端部を下方へ圧迫する。

問 2. 肩鎖関節上方脱臼の 3 度損傷で正しいのはどれか。(第 30 回)

1. 肩峰が角状に突出してみえる。
2. 反跳症状がみられる。
3. 頭部を健側に傾ける。
4. 上肢は短縮する。

問 3. 肩鎖関節脱臼整復時に上腕に対する助手の動作で正しいのはどれか。(第 30 回)

1. 下方へ牽引する。
2. 上方へ押し上げる。
3. 内方へ牽引する。
4. 外方へ押し上げる。

問 4. 肩鎖関節上方脱臼の症状で正しいのはどれか。(第 31 回)

1. 肩峰部が階段状に突出する。
2. 肩関節の外転運動が制限される。
3. 不全脱臼では変形はみられない。
4. 完全脱臼ではピアノキー症状がみられない。

問 5. 肩鎖関節上方脱臼で誤っているのはどれか。(第 32 回)

1. 高齢者に好発する。
2. トッシーの分類がある。
3. 直達外力による発生が多い。
4. 鎖骨遠位端が上方に転位する。

問 6. 右肩鎖関節上方脱臼患者の衣服着脱の介助で正しいのはどれか。(第 33 回)

1. 右から脱がせ、左から着せる。
2. 右から脱がせ、右から着せる。
3. 左から脱がせ、左から着せる。
4. 左から脱がせ、右から着せる。

問 7. 肩鎖関節上方脱臼の整復法で誤っているのはどれか。(オリジナル問題)

1. 助手は患者の後方に位置する。
2. 助手は患者の患肢を後上方に引く。
3. 術者は患側の肩関節 40~60° 外転位に持ち上げる。
4. 術者は肩峰部を下方に圧迫する。

問 8. 肩鎖関節上方脱臼 (第 3 度) の症状でないのはどれか。(オリジナル問題)

1. 反跳症状
2. 烏口鎖骨靭帯断裂
3. 肩鎖関節部の階段状変形
4. 肩峰の突出